

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	子どもの居場所づくり事業					②事業番号	7405
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	令和 1 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	○ 計画等	その他	法令等の名称 泉南市子ども・子育て支援事業計画
⑦実施手法	○ 直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	5	目	5	細目 6
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
教育委員会	生涯学習課(青少年センター係)						

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内の小・中学生	① 市内の小・中学生(児童・生徒数)	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
市内の全小学校区で、主に夏休み中の子どもたちの居場所を確保し、その居場所の中で多様な経験・体験ができるように様々な取組を行う。	① 延べ実施回数	回
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
社会を担う力を身につけ、互いを知り合うことによる内外交流を促進し、安全で安心な子どもの居場所の提供及び子どもの健全な育成を行う。	① 延べ参加者数	人
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市内全小学校区ごとでの子どもの居場所の提供及び子どもの健全育成につながる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
(1-4-3-3): 青少年と様々な世代の市民との交流を促進	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	3 青少年、子どもの健全育成
	施策小	4 子どもの居場所づくり

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	市内の小・中学生(児童・生徒数)	人		5,043	4,834	4,699	4,699	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	延べ実施回数	回		28	12	10	10	
活動指標②								
活動指標③								R2年度は新型コロナウイルス感染症対策により、前年度の各小学校での実施ではなく、市内の社会教育施設を利用して実施した。また、放課後児童クラブへの出前事業として実施した。
成果指標①	延べ参加者数	人		1,049	224	400	400	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人		0.62	0.54	0.54		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人		0.00	0.30	0.30		
	任期付職員	人		0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人						
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円		4,781	5,025	5,025		
	直接事業費	千円		1,129	975	389		
	総事業費	千円		5,910	6,000	5,414		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0		—
	府支出金	千円		1,129	975	389		
	受益者負担金	千円		0	0	0		
	その他特定財源	千円		0	0	0		
	一般財源	千円		4,781	5,025	5,025		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	夏休みの学校プール一般開放事業の代替事業として、未来を担う子どもたちを健やかにはぐくむために学校・家庭・地域・行政が連携協力し、地域の人材を活用し、学校教育では得られない多様な体験を子どもに提供し、子どもの心の醸成に資することを目的として事業を開始した。
②開始から現在までの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	新型コロナウイルス感染症対策のため、予定していた市内全小学校での実施をとりやめ、青少年センター、図書館、埋蔵文化財センターの3館を使つての実施に留めた。また、放課後児童クラブへの出前事業として実施した。今後は子どもたちがより参加しやすい形態をとるため各小学校での実施を行うが、感染症対策のためソーシャルディスタンスをとりやすいため定員を設けた形で実施する。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	講座アンケート等により様々な経験・体験を希望する声があがっており、市民ニーズに対応した内容の充実を図っている。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

C

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	R2年度には、当初予定の市内全小学校での実施が出来なかった。今後は感染症対策を十分に行い、対象児童が参加しやすい運営を行う。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	各小学校で実施し、安全・安心確保のためのボランティアの参画等で参加しやすい状況を作ることができる。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	すでに他部署との合同事業であるが、より多くの部署と連携することで成果向上につながる。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	交付金の活用や市民ボランティアとの協働など、これ以上の削減は難しい。
--	----------------	------------------------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	他の事業でも同じだが、新型コロナウイルス感染症が蔓延したため、前年度と同様の形式での実施が難しくなっている。感染症対策をしっかりと施したうえで、子どもたちが様々な経験・体験ができるプログラムを実施していく。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓				
b	<今後の展開方針>				
	a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる)	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)			
①改革、改善の具体案、実施年度など		H31年度、R2年度の事業実績から、それぞれの年度での良かった点を取り入れて、R3年度以降実施していく。具体的には、子どもたちが参加しやすい各小学校で実施し、感染症対策等安全面の観点から定員を設定して実施する。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		感染症対策のため定員を設けるが、より多くの子どもたちに参加してもらうためには、実施回数を増加させる必要がある。プログラム回数の増加は、コストの増加や他の事業運営に支障を来す恐れがある。			